

# かがやき

令和3年 10月26日(火)  
多摩市立連光寺小学校  
特別支援教室 かがやき学級  
学級通信 NO. 10

## 「ゆっくりとまわりを見て、いろいろ感じてみること」

後期が始まり、2週間が過ぎます。朝夕の気温は下がり、秋の深まりを感じます。夕空を見れば月があります。吐き出す息も白くなり、季節は移っていきます。先日、グループ指導の中で自分の好きな天気について話をしたときことです。ある子が「雨音が落ち着く」という発言をしました。何人かの子も「私も」と言っていました。なるほど、日々の天気の中にもいろいろなことを感じるができるのだなあとしみじみ思いました。気温が下がっています。体調等に注意しつつ季節の移ろいを楽しんで過ごしていきたいですね。

## 「自分のことを言葉で整理すること」

かがやき教室の指導では「言葉で整理する」ことを行うことがあります。これは自分や相手への気持ちであったり感覚であったり自分に対する理解を言葉で表現していく学習となります。もちろんこうしたことが得意な子もいれば、苦手な子もいます。ただ、言葉で「自分」を適切に伝えることは社会においても大切なことなので日々、学校生活の多くの場面で子供達はこのことを学習しているわけです。しかし、「言葉」で伝えるのは簡単なことではありません。自分がこれまで経験の中で知ってきた気持ちや感覚の言葉を自分の状況に当てはめて伝えるにはやはり経験と語彙が必要になります。また、「自分の言葉」が出てくるまでに一定の時間がかかるときもあります。「楽しい」「わくわく」「うれしい」「イライラ」「心配」「むずかしい」等々。子供たちとの振り返りの中で場面理解や気持ちの言葉を補いながら話をしていく中で「なるほど、こう感じていたんだね」ということもよくあります。日々の経験を言葉で整理しながら自分を伝えること。より自分自身のことがわかるようになること。そんな力がついていくように指導を行っています。

## 「読み聞かせの効能」

以前ネットの記事で絵本スタイリストの景山 聖子さんの話を目にしました。景山さんによると読み聞かせに大きく以下の5つの効能があるとのことでした。

- 1 子供の精神状態を落ち着かせる。
- 2 子供のところにいろいろな「栄養」を与えられる。
- 3 子どもが自主的に他者とのコミュニケーションを学べる。
- 4 子供の好奇心を高められる。
- 5 親子の絆が深い所で結ばれる。

かがやきの学習においても個別やグループの中の指導で様々な読み聞かせを用いることがあります。そこで気が付くのは景山さんが指摘した効果が子供たちに当てはまるなあということです。特に本を聞き始める時の集中力。話の内容への共感や意見。こうした面において子供たちは大きく反応します。タブレットやゲームというデジタルネイティブの世代においてもアナログで感じるものがあることに「本」のすごさを感じるときがあります。指導の中では人の気持ちや人の成長に視点を置いた内容のものを用いることが多いですが、子供たちの課題に合わせてコーディネートして活用しています。

## 「お知らせ」

12月に令和3年度後期の個人面談を予定しています。詳細について近日中にお手紙を配布しますのでよろしくお願ひします。

## 最近の一冊

### 「ぼくとかっこ 谷川俊太郎 文・はたこうしろう 絵」

学校にいる「ぼく」が見ること感じることを通して成長する姿が描かれます。友だちのこと。学校に行きたくない日の事。やがて卒業すること。イラストから気持ちの変化を見つけたり自分に重ねて考えたりそんな学びを感じることができます。



### 「しばいしちゃった ノーマ・サイモン 作 ドーラ・リーダー 絵」

だれでも失敗する。大人も動物も先生も。どんな失敗をしてしまった？でもなにかできることは必ずある。ときどき失敗もするけどね。海外の作品ですが、「失敗」についてどのように捉えるか。そんな導入にも使える一冊です。

### 「うそ 中川ひろたか 作・ミロコマチコ 絵」

「うそってなんだろう。人ってなんだろう。」日々の生活の中にある「うそ」。人はなんのためにうそをつくのか。どんなときにうそをつくのか。自分の体験にも重ねながら友だちと意見を言い合うこともあります。



### 「こんなときどうする？ FN先生 作・絵」

コマッターとヨカッターが繰り広げる「こんなときどうする？」の世界。学校生活や学習場面で子供たちが遭遇しそうなエピソードが分かりやすいイラストで展開されています。最後は「相談することが大切だよ」で締めくくる啓発型の絵本です。